

製品名: KEAP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81195**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:20-1:50,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	69.7kDa

抗原情報

遺伝子名	KEAP1
別名	INrf2; KLHL19
遺伝子 ID	9817.0
SwissProt ID	Q14145
免疫原	大腸菌で発現したヒト KEAP1 (AA: 380-624) の精製された組み換え断片。

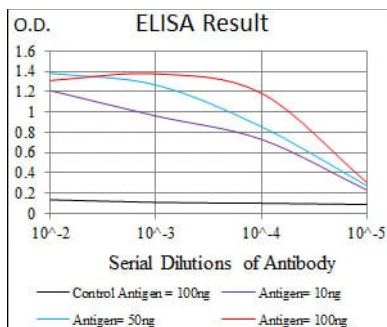
背景

この遺伝子は、KELCH-1 類似ドメインと BTB/POZ ドメインを含むタンパク質をコードしています。Kelch 類似 ECH 関連タンパク質 1 は、NF-E2 関連因子 2 と酸化還元感受性に相互作用し、細胞質内でのタンパク質の解離に続いて NF-E2 関連因子 2 が核へ輸送され

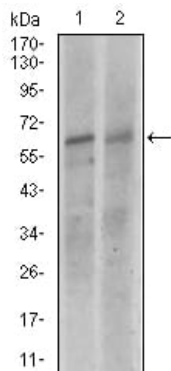
ます。この相互作用の結果、 γ -グルタミルシステイン合成酵素の触媒サブユニットが発現します。この遺伝子には、同じアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

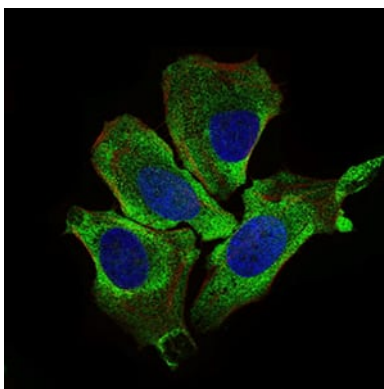
画像データ



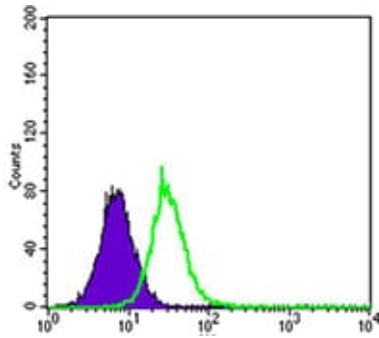
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



NIH3T3 (1) および A549 (2) 細胞溶解物に対する KEAP1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



KEAP1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



KEAP1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。